

神南中学校区保護者アンケート調査結果（閲覧用）

1 アンケート調査の概要

神南中学校区では、令和5年6月に神南中学校区学校地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置し、校区の児童生徒にとってより良い教育環境にしていくため、児童生徒数が減少する中、これまでどおり神南中学校に通い続ける方が良いのか、隣接する中学校（豊富、香寺）のいずれかと統合する方が良いのか、あるいは神南中学校、船津小学校、山田小学校を統合して義務教育学校とする方が良いのかを比較して、どうすることが望ましいかについて検討している。

令和6年7月に神南中学校区の全世帯を対象に実施したアンケート調査では、「統合しない」「隣接中学校との統合」「義務教育学校」の3つの選択肢のうち、「統合しない」と「義務教育学校」に多くの回答が集まる結果となったが、協議会として取組方策を決定するには至っていない。

また、アンケートの自由記述では、保護者の考えが大切であるという意見が多かったことから、改めて神南中学校区の小学校とこども園にお子様が通われている保護者を対象としたアンケートを実施することとした。

2 調査期間

アンケート回答用紙配付日から令和7年2月14日（金）まで
※ 令和7年1月21日に学校園にアンケート回答用紙の配付を依頼

3 調査対象

船津小学校、山田小学校、船津こども園、山田こども園の保護者 232世帯

※ 調査対象数は、対象となる小学校とこども園の長子の人数から重複する世帯を除いた数。

4 調査方法

- ① アンケート実施に際して保護者に事前に説明資料を配付
- ② 説明資料について質問を受け付け、質問に対する回答をスクリーン及びキッズビューで配信
- ③ アンケート回答用紙を保護者に配付
- ④ 追加で質問がある方や、資料説明が必要な方を対象に説明会を開催
- ⑤ 提出期限までにアンケート回答用紙を回収

5 回答数

	船津小学校	山田小学校	船津こども園	山田こども園	合 計
回答数	136 件	61 件	18 件	10 件	225 件
対象数	136 件	67 件	19 件	10 件	232 件
回答率	100.0%	91.0%	94.7%	100.0%	97.0%

※ 対象数は、神南校区の小学校とこども園の長子の人数から重複する世帯を除いた数。

（参考）説明会

開催日・場所

令和7年2月5日（水） 山田小学校ランチルーム（体育館から変更）（参加者：0名）

〃 2月8日（土） 船津公園ふれあいの館会議室（体育館から変更）（参加者：9名）

<注意> 各回答項目の割合（%）は、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合がある。

◆質問

問 1 神南校区の児童・生徒数が減少してきていることを踏まえ、あなたは、神南中学校についてどの取組方策が最も良いと考えますか。(回答は1つ)

項目	船津地区	山田地区	全体(%)
① 神南中学校は統合しない。	46(29.9%)	28(39.4%)	74(32.9%)
② 神南中、船津小、山田小を統合して義務教育学校にする。	84(54.5%)	39(54.9%)	123(54.7%)
③ その他	23(14.9%)	4(5.6%)	27(12.0%)
④ 無記入	1(0.6%)	0(0.0%)	1(0.4%)
合 計	154	71	225

問 2 問 1 の回答を選んだ理由をご記入ください(自由記述)

① 「統合しない」を選択した方

小規模(少人数)であることに魅力を感じているから。
統合することにこだわらず、小規模校として取り組みを進めてほしい。
区切りがつきにくい。(卒業式、入学式など)
いろいろな面で不安があるため。
より手厚く、よりチャレンジできるといったポジティブに考えることができる。
いずれ維持できる人数がいなくなるから。
義務教育学校にするメリットが感じられない。
通学手段、学習面に対してアンケートの内容に納得いかない。小学を卒業後、一緒になるので前倒しする必要はない。
通学の距離、安全面が確保できなければ不安です。
小学生が毎日登校する距離と思えないため。
少ないからこそその魅力がある。仲も良い。歩いて友達と帰る楽しみや経験がなくなる。
複式学級になり他学年と同じ教室で交流することも、良い経験になると思う。
小学校と中学校が統合した場合、小1と中3の子たちの年齢の差があり過ぎて、行事等が難しくなりそうだから。
スクールバスがないため。
小学校の改築工事が行われ、今の環境に慣れているのに、統合をする事によって環境の変化は子どもにとって心の負担が大きいと思います。
義務教育学校としたところで神南中学校の問題は何も解決はしない。小学校の問題解決にしかになっていない。
小学生がランドセルを背負って登校するには遠かったりする。
統合した場合、大人数になり、生徒たちに細かく目が行き届か不安。
母校がなくなり、統合するのは嫌です。さみしいです、子どもたちも親が通った学校へ通わせてあげたいです。神南中学校だと家から近いので、部活で遅くなっても安心ですが、別の中学校になると、交通の面などで心配です。
子どもたちも小学校の校舎で学べなくなるのはさみしい。(なくなるのも)と言っている。可能な限り存続してほしい。
低学年に中学校までの通学手段が徒歩では負担が大きい。又、自転車も不安がある。
山田・船津小学校の統合は仕方ないと思う。(どちらの学校も少数1クラスなので)
取組方策決定後に検討する事案が多く感じるため。統合を前提とした案を明示してほしい。
登下校の距離、時間が大幅に増えてしまうので、徒歩以外での通学方法についてどのようになるのか具体案を聞きたい。
現状維持で良いと思う。
少人数制でも良いと思う。
今まで通りが良い。
神南中学校を統合しても、生徒の数が変わるわけではないため打開策ではないと思うため。
現時点での意見ですが、神南中学校と豊富が合併しても、またどこかと合併しないといけないなど、次々に問題が出てくるようであれば、統合する必要はないと思います。

中学生の3年間は、小学校とも高校とも違う、大事な時期（気持ち的にも、勉強面でも）だと思うが、行事や日常生活でどこまで小学生と関わるのが気になる（あまり小学生と関わらないのであれば、統合もありだと思う）中学生が小学生の世話をすることが無いようにしてほしい。
児童・生徒数の減少は、姫路市全体の問題であり、同様に学校規模が縮小してゆくことも全地域の問題である。学校の統廃合を考えるのであれば、姫路市全体での中学校の将来の配置数の計画を立て、ビジョンを示し、将来像の見通しを立てて姫路市内全体の中学校で削減してゆく必要があるはずだが、計画性が全くない。神南中学校1校だけを標的にしてやっていこうということでは、全く納得できない。
いずれ子どもの数もどんどん減り衰退していく。学校の統合よりもっと考えないといけないことがあるのではないかと。学校が地域からなくなると過疎化がもっと進み、活気がなくなる。他地域からの転校等もなくなる。
義務教育学校にしても生徒数は増えず、教員数確保にもあまりつながらないと思う。学校の統合の前に、神南校区の人口を増やす政策、法律改正をするべきだと思う。義務教育学校は通学の子どもの負担が大きい。
少人数なりに勉強や部活、文化面で児童がそれぞれ活躍できる環境を作れるのではないかなと思うから。船津小学校の工事が終わってきれいになったので校舎を使用したい。
学校が遠くなるので通学が心配なため。
学校が遠くなった際の安全性（登下校時）に不安がある。
地元の小中学校を残したい。
今は、上記の回答になりますが、根本が解決していないと思います。人が増えれば・・・と思います。子どもの環境をあまり変えたくないの。 1クラスの人数が減ったので、間違いなく2クラスなので、今のところはいいです。
なるべく環境の変化が少ない方が安心です。義務教育学校も良いと思うが、中学校が遠いので心配です。
それぞれ立派な校舎がある（船津小は昨年工事してきれいになったばかり）ので、統合してしまうと使わない学校の校舎ができてしまうからもったいない。ただ、今後の児童数の減少を考えると校舎の問題だけでは決められないと思う。
統合するメリットがあまりないと思う。
登下校の安全確保面に不安がある。
通学が困る。

② 「義務教育学校」を選択した方

香寺や豊富との統合の話は通学が危険で反対だが、神南での義務教育学校であれば問題ないと思う。
現実的に校舎や教職員のことを考えると、統合かなと思います。子どもの人数で考えても統合しないのは難しいと思います。1～9年生が縦のつながりの中で生活していけるなら良いのでは。
10人以下の学年がこれから増えてくる。
今後、益々少子化が進むのであれば仕方がないと思います。小規模のメリットもありますが、人間関係が固定化してしまうデメリットもあり2クラスでクラス替えができる程度の人数が子どもにとって良いのではないかなと思います。又、神南中学へ進学後になじめなくなるより小学校の時期から統合していた方が中学での不安が少ないと考えます。
複式学級などよりは統合の方がまだ良いと思うので。
船津小学校と山田小学校を統合するのだったら中学校も持ち上がりでその人数だし小中一貫にしても良いのかなと。
一か所に子どもを集めることにより少しでも人数を増やし集団生活をし、学んだり遊んだりできる環境が良いと思います。友達の人数も増えることも良いことだと思います。
隣の豊富小中も数年前から義務教育学校になっていて特に不満の声など聞かないので。
今までの校区で地域の良さを活かしつつ児童、生徒数が減少しており2つの小学校を統合するのが現実的だと考える。
小中一貫校も少子化によって増えてきていることと、中学になれば船津小と山田小は一緒になるので。
全く別の校区と一緒にするよりは、同じ校区内の小中一貫とした方が親子共々メリットがあるように思う。
豊富、香寺と統合するなら船津、山田で義務教育の方が良い。
友達関係等、考えると人数の少ない方が良い。
少子化のため色々な人との出会いを大事にしてほしいから。
香寺、豊富と統合より、義務教育学校にする方が登校時の安全面などを考えると安心です。山田小の子どもは遠くになってしまうので、スクールバスなどできると良いと思います。
生徒数や教諭数を考えると3つを統合するのが良いと思います。山田の方は少し遠いですが、豊富や香寺と統合するよりは現実的ではないのかと考えます。
人数減少のため、豊富や香寺と統合した時の登下校の不安の方が大きいから。
一番現実的だから。
スクールバスが出るならば良いと思う。路線はきちんと考えてほしい。

1つにまとめた方が経済的に良いと思うから。
人数が減っているため。
人数（生徒数）が減少しているから。運動会、音楽会は人数が少ないと楽しくない。中学で一緒になるなら小学校から一緒に良いと思う。
子どもがどんどん減っていく中で、地域にしっかり根付いたうえで活気ある学校生活を送ってほしい。
通学の距離を考えると校区が良い。
子ども数の減少に対して、9年制にすることによって少しは学校内が活気づくだろうし、神南校区内での取り組みのため環境変化が抑えられ不安が減ると思うので。
中学で一緒になる小学どうしが一緒になる方がその後の教育には一貫性があると思うので。統合しても小規模の小学校なのであまり変わらないと思う。
今のままであってほしいのが本心ですが、生徒数が減少していくので、今の神南校区の良い所を隣接中学校との統合で失ってほしくないです。するとしたら、神南中学校、船津小学校、山田小学校を統合の義務教育学校。
異学年交流ができる。
小中一貫の方が不登校の問題も減ると思う。教師の人数の問題も少しは緩和されるかと思います。
児童減少のため。中学校の校地を使用の場合、給食室の確保をお願いします。
現状と未来（可能性）を鑑みて落とし所であるので。
生徒数が減少すると活動範囲が狭くなってしまい、大きな行事等も運営できない可能性がある。子どもたちの人間関係が固定されてしまう。教員が十分に配置されず、子どもたちに対する評価も固定されてしまう不安がある。
豊富中と神南中を統合して、豊富に通っても数年で神南校区の人数が多くなるのでわざわざ遠くまで行くのがかわいそうなので。
いずれ、神南中学校で一緒になるのでそんなに変わらないと思う。
色々な学年と触れ合う機会が多くなるため、中学校入学時に不安を抱えないで済む点。
小学から中学へ進級するときのギャップが少し解消されるのではないかと考えます。
子どもの数が少な過ぎて、子ども同士のかかわりや学びが十分に行うことが難しいため。
クラブ活動等の人数も減って活動の選択が減る。中学校になれば結局一緒になるので小学校、中学校統合で良いのでは。
山田地区の子どもたちや船津地区の子どもたちを豊富小中学校や香寺方面の小学校や中学校へ行かせるのは大いに反対します。
近い将来において、神南中学校を使用して山田地区の子どもたちと船津地区の子どもたちの義務教育学校にしていくことに賛成します。
なぜ神南中学校があるのに、豊富地区や香寺地区への統廃合の話が出てくるのかが分かりません。今ある神南中学校を活用していけば山田や船津はもっと活性化していくと考えています。
少子高齢化の波は止まらないのであれば、義務教育課程を進めていくべきではないでしょうか。
モデルケースとして近くに豊富小中学校があるのを参考にしながら山田地区と船山地区の良さを活かした統合を目指していけば良いと考えます。
授業や学校での生活は少人数でも行えると思いますが、行事（運動会、音楽会）ではできる事が限られてしまうと思うので選びました。
統合せずにこのままやっていけることがベストだが、このままでは、山田小学校が維持できない。船津小と統合するのであれば、義務教育学校として小中一貫にした方が子どものためには良いと考える。
少人数だからできることもあるが、ある程度の人数がいる方が学べることも多いと思う。
各小学校の1年生が1ケタ人数になってしまうくらいなら、義務教育学校にした方が良いと思う。豊富や香寺と統合するのは、通学の距離、安全面、保護者の負担を考えると現実的ではない。
学校側の人員不足も深刻だと思うので、教育環境をある程度の質に保つためには、規模最適化もやむを得ないと思う。
本音では、従来の校区で安心して教育を受け続けられるのであれば、それが理想です。
子どものコミュニケーション能力向上に、多様で多くの人と接する機会を与えたい。
生徒数が減り、静かな状況で学校生活を送るより、多人数の中で刺激や影響を受けながら学校生活を送ってもらいたい。
統合するとなると、どこと統合するのか、通学手段はどうするのか不安なため。
子どもの数が少なくなっているのでは仕方ないと思う。
人数が増えるから。
現状1クラスの学年が多いため、毎年クラス替えもでき、交友関係も広くなると思われるため。
神南校区を残したい。子どもが減少し、統合せざるを得ないので、船津と山田のみの統合でとりあえず・・・。
統合しない理由→豊富校区は、今後の児童・生徒数が神南校区より減少する。香寺校区は、現実的でない。（登下校の安全、通学手段、地域のつながりなど）
義務教育学校→違う地域に行くより、地元で教育を受ける方が子どもの成長に良いと思う。
少子化が浮き彫り。

少人数制の良い所もあると思います。ある程度の生徒数がいないと、学校というコミュニティ内での社会性や協働を学んだり、経験することが減ってしまうのではないかと思います。
児童減少により1クラスだけとなるよりも、クラス替えがある方が進学していくうえで良いと思うから。
人数が少なすぎるので、役員がずっと回ってくる。
昨年の中で、他校との統合は現時点で難しそうだと感じました。となると消去法で義務教育学校しかないような…。(次の段階として豊富との統合をしやすくなる?)
生徒数の現状を考えると仕方ない。
せっかくある神南中の校舎をムダにせずに済むし、遠くの学校へ行かなくて済むと思います。
幅広い年齢での交流ができる。イベント、行事なども一緒にできると、子どもたちだけではなく、小・中に子どもがいる親も助かると思います。
地域ごとに文化等があるので他地域と合同になると意見が分かれてくることあるのではないかな。答えを出さないといけないなら、神南校区のまま義務教育学校が良い。
現段階では最も子どもたちや保護者、地域の方への負担が少なく移行できると考えるため。
中学校区が同じところと統合した方が良いと考えるため。
統合することなく、船津小学校・山田小学校を守り、子どもたちに通ってほしいが、その他の案よりは子どもたちの不安や負担も少なく良いのかな。と思いました。
他の中学校と統合するより、義務教育学校の方が登校などのことを考えると良いと思うが、義務教育学校のメリット・デメリットが知りたい。
豊富、香寺と統合するよりは、中学校の校地を使用して義務教育学校にする方が良いと感じたので。
もともと中学校で、山田小学校と船津小学校が統合するので、それが小学校からと早まるだけなので問題ないかと思ったので・・・。
2小1中の場合、小学校の児童数が少ない(特に山田小)ので、統合した方が良いと思ったため。
小学校の1学年の人数確保のため。
人数が少ない中、同じメンバーで過ごすよりも、少しでも沢山の人の中で過ごし接する方が良いと思う。
最も現実的だから。
中学校へ入学する感じではなく、同じ校舎で同じ教師、友達がいるのは、子どもの心の安定につながると思う。
通学の距離が変わらないので。
コスト削減のため。
どこかと統合しないといけないなら、義務教育学校になる方が良いです。いろんな面で安心です。
子どもの通学時間が短くてすむ。
生徒の少ない環境で、色々な行事が小さくなるなら時代に合わせて変えた方が良いと感じる。
兄弟の行事ごとが1回で終わる。人数の確保。でも、小学→中学へのステップ感がないのかな・・・。
中学生からしたら小学生を煩わしく思うのかもしれない。
人数が減る中で、校舎等の維持費がかかるなら、統合していくことも仕方ないと思う。他校区と統合するのなら近い山田校区となら中学校で一緒になるので統合しても良いと思った。

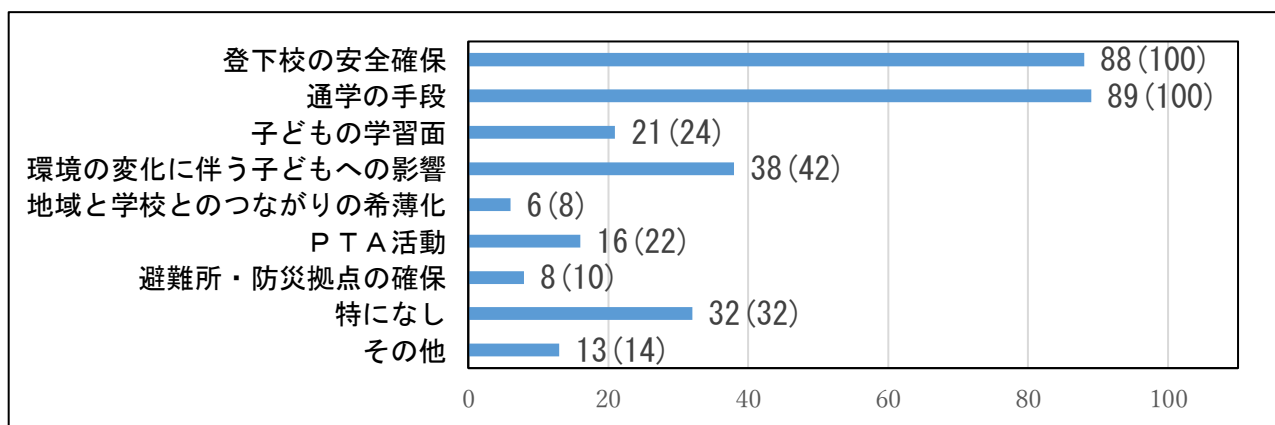
③ 「その他」を選択した方

5年後に義務教育学校になっても、その数年後は更に子どもの人数が減っていてすぐに次の段階を考えないといけなくなるのではないかな？
今の状況が良い。
十分な学級数に至らない。
どちらでも良い。子どもたちの安全面、環境の変化に対して一番良い方法を決めればどちらでも良い。
香寺もしくは豊富と統合が良いと思います。統合しない場合、先生の負担が多くなる。義務教育学校にした場合でも児童、生徒数が増えるわけではない。
少人数の義務教育学校にしても意味がない。
協議会に委ねます。
近隣の中学校(香寺)と統合希望。船津小・山田小の義務教育学校を作ってもいずれ少人数の問題が出てくるため。義務教育学校は6年生から中学1年生の区切りがないので(卒業式や中学生になるという子ども自身の意識)メリハリを付けたい。
そもそもこの問題は「神南校区の生徒数が減って今のような学校を維持していくのは難しくなるからどうしたら良いか?」ということだったと思うが、それを解決するには近隣との統合しかないと思う。統合しないや義務教育学校にするのは何の解決にもならない。論点がだんだんとずれてきているから。
どちらでもかまいません。
神南校区のみの合併では、あまり年月の経たないうちに再度他地区との統合・合併の必要性に迫られるのではないかと考えられるため。(合併後に目指す児童・生徒数を定め、その人数が何年充足できるかから逆算して統合・合併を検討するのも一案ではないかな)
子どもたちが学びやすい環境ならどちらでも良い。
みなさんのご意見に合わそうと思っています。

香寺・豊富小中との合併。
子どもの人数が減少し、近い将来何らかの形で統合しないといけないのは分かりますが、通学する子どもたちの安全面などを先に考えてほしい。統合してから決めるのはおかしいと思います。
香寺中学校との統合を希望する。理由、統合の場合、豊富、香寺とのいずれかとの統合となるがどちらでも自転車通学になるが、豊富は通学路の安全性が極めて低い（香寺が高い訳ではない）校外クラブ、学習塾等文具の購入等、香寺との統合の方がメリットは多い。
義務教育学校にしても、いずれは統合することになるのではないかと？小中を少ない人数で過ごして、高校に入って急に大人数の中に入っていくことになるので不安に感じる。
近くの学校と統合すべき。
香寺との中学校の統合を希望します。小中学校を統合する事も考えましたが、生徒数が増えるわけではなく、今までと何がかわるのか、メリットがないように思えます。小学校同士が統合するのは良い事かもしれませんが、中学校は別の方が良いのではないかと思います。
香寺中と合併を望んでいます。義務教育学校になっても、1クラスの人数は増えませんが意味のないように思います。やはりクラス替えができることが子どもにとって良いと思いますので香寺中との統合が良いと思います。
統合しても、各学年の人数がかわる（増える）わけではないので、子どもたちにとっても意味があるか正直分かりません。他校と統合した方が、先々考えると良いと考えます。子どもも、人数が多い方が良いと思っています。香寺と統合してほしいと言っています。
住民の感情的な意見より、市として最も現実的に最良な方法を提示していただければ、ころころ方策が変わってついていけない。
できれば香寺中と統合したい。次の案としては、神南中、船津小、山田小の統合はありだと思う。PTAも1つで済むのなら良いと思う。
沢山の友達と学んでほしいと思うから。

問3 義務教育学校となった場合に心配や不安に思うことは何ですか。(回答は2つまで)

項目	船津地区	山田地区	全 体
① 登下校の安全確保	49 (56)	39 (44)	88 (100)
② 通学的手段	50 (57)	39 (43)	89 (100)
③ 子どもの学習面	19 (22)	2 (2)	21 (24)
④ 環境の変化に伴う子どもへの影響	20 (22)	18 (20)	38 (42)
⑤ 地域と学校とのつながりの希薄化	3 (5)	3 (3)	6 (8)
⑥ P T A活動	14 (18)	2 (4)	16 (22)
⑦ 避難所・防災拠点の確保	6 (7)	2 (3)	8 (10)
⑧ 特になし	28 (28)	4 (4)	32 (32)
⑨ その他 (自由記述)	12 (12)	1 (2)	13 (14)



※ () 内の数字は、3つ以上選択した方の回答を含む

問4 問3の回答を選んだ理由をご記入ください（自由記述）

問3での回答		回答（自由記述）
登下校の安全確保	通学的手段	大きい道を通学に使うことになる地区では、安全面での不安がある。
登下校の安全確保	通学的手段	徒歩や自転車通学となると、小学生の年齢だと心配です。
登下校の安全確保	通学的手段	なるべくなら一人で学校へ行って帰ってきてほしい。義務教育学校になると車の送り迎えが今より目立ち 17 時まで仕事の私たちは迎えは無理な話。いろいろなトラブルがありそう。ルールがちゃんとあって決めて守るにしてほしい。
登下校の安全確保	通学的手段	自転車、徒歩の混合になり小学生は徒歩であれば自転車との衝突等の危険もあり、安全面がとても心配です。又、小学生で長距離の（スクールバス外）の子どもたちへの対応を検討していただきたい。
登下校の安全確保	通学的手段	距離が遠くなるため。
登下校の安全確保	通学的手段	小学校の低学年の子どもにとって登下校の通学的手段や安全確保が一番心配だと思う。
登下校の安全確保	通学的手段	低学年の子どもを神南中まで歩かせるには厳しい。親の送迎が必須になる。共働き、母子家庭、勤務時間がバラバラ（夜勤等）の家庭の負担が大きすぎる。
登下校の安全確保	通学的手段	低学年の自転車通学は危険でしかない。スクールバスがつかえるなら…。
登下校の安全確保	通学的手段	夕方になると暗い。街灯は少ない。直線距離で説明するが、実際の距離ははるかに長く、小学生が登校する距離とは思えない。又、坂道も多い。中学生でも片道 40～50 分かかる。
登下校の安全確保	通学的手段	山田小学校まで今が通学距離が短いので、その点だけです。
登下校の安全確保	通学的手段	スクールバスの利用があるなら良いと思います。
登下校の安全確保	通学的手段	小学校低学年には通学距離、安全面で心配。
登下校の安全確保	通学的手段	家から距離があるため。
登下校の安全確保	通学的手段	遠いから。
登下校の安全確保	通学的手段	遠方に通うことになると、部活などで下校が遅くなり、下校時の交通量など安全面で心配になります。
登下校の安全確保	通学的手段	神南中へは自転車で通う必要がある距離に住んでいる生徒もいるため集団登校ができるのか？その際の歩く距離の懸念や安全面の不安が残ります。
登下校の安全確保	通学的手段	低学年の児童が体力的に通学できる距離の範囲なのかが心配。
登下校の安全確保	通学的手段	登下校の保障が最優先と考えたため。
登下校の安全確保	通学的手段	児童数が大幅に増える事には良い点も悪い点もあると思うが、児童一人当たりの教育の行き届きが現状の少人数体制から比較して、質が保てるのであれば、統合するメリットもあると思う。現段階においては具体例がないので統合に対する利点が見だせないのが本音です。
登下校の安全確保	通学的手段	家からの距離が遠い。
登下校の安全確保	通学的手段	小学校がなくなり、神南中までの登校を余儀なくされた場合、今よりも学校までの距離がのびる子どもたちがたくさんいます。単純に歩く時間、距離が増えるだけと思ってほしくないです。子どもたちの負担、安全面を考えてほしいです。
登下校の安全確保	通学的手段	子どもが多いため。
登下校の安全確保	通学的手段	通学が約 2 キロの徒歩となるが、通学路に歩道がない。夏の異常気象で熱中症リスクが高い。通学時間が 2 倍になり、時間ロス、交通事故の危険性が増えるのみである。義務教育学校にするのであれば、今より通学距離がのびる子どもはバス通学にしてみたい。
登下校の安全確保	通学的手段	中学生は、距離によって徒歩と自転車の子がいる。義務教育学校になった場合はどう対応していくのか？登校班はなくなるのか？
登下校の安全確保	通学的手段	距離が遠くなり、安全面・治安の悪化。
登下校の安全確保	通学的手段	低学年の子どもが中学校まで歩いていくのに時間がかかるため。
登下校の安全確保	通学的手段	直線距離で半径 2.5km 未満の地域はスクールバスの対象にならないとのことですが、中学生の足で片道 40 分かかる距離を、重いランドセルを背負った小学 1 年生に歩かせるのは虐待に近いと思います。普通の親なら統合に賛成できないと思います。
登下校の安全確保	通学的手段	距離が長くなると子どもたちの登校の時間が早くなったり、登下校の時間や移動の距離が長くなるため、子どもに負担にならないのか？
登下校の安全確保	通学的手段	小学生に徒歩での通学は難しい距離であるため。

登下校の安全確保	通学的手段	小学生低学年の子どもたちが、山田地区や船津地区から神南中学校へ向かわせるのは遠いと思われる親御さんが多いと思いますが、豊富地区の子どもたちもそれなりに遠い距離を歩いて学校まで行っているのを知っておりますので行けないことはないと思います。 ただ、歩く距離が遠くなった分、安全性を重視していかなければならないので中学校と地域との関わりが重要になっていくと思います。 現在も地域の方々に助けて頂いておりますが、親御さんたちだけではなく高齢者の方々に今以上に見守り隊の増員をお願いして行き帰りの道に立っていてほしいと思います。 それと、神南中学校まで行くのが遠いというのが分かっているのであれば、外灯を増やすであるとか防犯カメラを増やすとかを考えていく必要があると思います。
登下校の安全確保	通学的手段	距離と安全面
登下校の安全確保	通学的手段	立地が校区内最南端となるため、北部からでは遠い。
登下校の安全確保	通学的手段	今でも中学校周辺に送迎の車が多く、マナーの悪い車もあり中学校周辺住民へ迷惑になっていることもあるが、その台数が増えることが予想される。スクールバスもバスへの置き去りなどの事故がないか、小学校低学年は不安。
登下校の安全確保	通学的手段	住んでいる地域によっては、神南中までの距離がとても遠いため、通学面で色々と不安がある。 小学生で学童に行っている子は放課後どうするのかも気になります。
登下校の安全確保	通学的手段	やはり、低学年の間は特に登下校が心配です。
登下校の安全確保	通学的手段	(現状) 小学校よりも遠くなるので、徒歩であるのなら心配。トラックやバス通りであるため。
登下校の安全確保	通学的手段	通学にかかる時間や距離が増え、特に低学年のうちは負担が大きい。
登下校の安全確保	通学的手段	中学校を使用する場合、通学距離があるので親が常に見れる訳でないで、安心できる状況を作してほしい。
登下校の安全確保	子どもの学習面	統合した場合通学距離が長くなり、安全が確保されるか心配。
登下校の安全確保	子どもの学習面	先生が減ると子どもの学習への対応が手不足になりそうで不安。
登下校の安全確保	子どもの学習面	山田小学校校区の子どもたちの登下校の安全な道の確保がちゃんとできるか。スクールバスができるのか。
登下校の安全確保	子どもの学習面	学校が統合することで、教師等人材が不足、マンパワー不足による学習面のサポートが手薄にならないか心配。登下校も近くなる人、遠くなる人色々あると思うので、子どもの安全確保、学力低下にならないかが心配。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	低学年の児童が長く交通量の多い道を通ることには、少し不安がある。しかし大きくなり、慣れてくれば登校班などで何とでもなると思うが、山田の児童数が少ないため、新しい環境、人間関係の変化に対応できるか、子どもは大人が思っているよりもサッと順応しそうですが。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	少し遠いので、小学生の子どもの安全、通学手段が心配。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	距離が長く、交通量の多い道もありリスクが増える。子どもだけでなく、地域の方々にも影響があると思う。一度廃校となれば再開はない。地域がすたれていく一方である。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	小学校1年生～中学3年生という年齢の幅もあるし、行事1つとっても従来どおりには行かないと思うし、低学年の子たちは登下校も距離もあるし、時間もかかるので色々な面での変化が心配だと思ったため。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	自宅から遠いので、小学生の間は、まず歩いて行くことができるのか、途中でしんどくなってしまった時に頼る事ができる場所があるのかが心配です。義務教育学校に切りかわった時に、今までの学校生活との違いにゆっくり慣れる時間があればいいなと思います。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学距離が長くなり、小学校への通学路と比べて車通りが多くなるにもかかわらず、歩道整備がされていないため。 時期、年齢にもよりますが、日常の環境が大きく変わることは、子どもにとって大きな負担になると思うため。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	生徒数が増えるので上下関係が心配になる。
登下校の安全確保	地域と学校とのつながりの希薄化	学校が地域活動の場の1つになっているので、なくなると町の活気もなくなってさみしい感じがする。 小学生の年齢で遠くへ登下校するのに不安です。

登下校の安全確保	避難所・防災拠点の確保	通学距離に差がありすぎる。避難所のキャパが少なすぎる。
登下校の安全確保	避難所・防災拠点の確保	低学年での登下校時の通学が安全確保できないと思う。地域でのサポートも現代の生活背景を考えると不十分になりそう。
登下校の安全確保		交通量の多いところを歩くため。
登下校の安全確保		・播但道周辺の交通量が気になる。 ・出張所前の横断歩道に信号がないので危険。毎日誰かが立ち当番をしてくれるのか？信号機を設置してくれるのか？
登下校の安全確保	その他	小学生は通学距離が多くは倍以上になるので。安全面、体力面に不安がある。また、山田地区からは学校がなくなってしまうので、地域の活力の低下が心配、山田・船津とも小学校校舎施設を今後どのように有効活用し、地域の活性化につなげられるか考えないといけないと思う。
登下校の安全確保		小学1年生でバスの範囲に入っていない子が徒歩で行けるのか心配です。
通学の手段	子どもの学習面	小学生の体力では通学距離が遠すぎる地区がある。中学生みたいに自転車通学させるのは難しい。運動場がせますぎる。
通学の手段	子どもの学習面	通学の距離が長いので、自転車通学になるかとは思いますがまだ自転車に乗れないのと、一人で通わせるのが不安です。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	小学生のうちからかなり距離のある学校へ通わせるのは、安全面でも心配があるし、通学にどうしても親が行かなくてはいけなくなったり、共働き世帯も増えている中、親負担も多くなる。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学の手段は特に低学年が心配。小学6年生と中学1年生は卒業式や入学式といった節目の式がなくなる。修了式など代わりの行事があっても、気持ちの節目にはならないように思う。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	高校1年生になった時のギャップがすごそう。ある程度人にもまれてほしいと思う。9年間新しい出会いがないのは大きいデメリットだと思う。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学で距離の差が出てくると思うから。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	環境も変わり、登下校にかかる時間・安全面が気になる。子ども第一に考えて配慮していただきたい。
通学の手段	P T A活動	小学生の通学手段が気になる。バスになるとしたら使用料は誰が負担するのかなど。P T A活動は一貫になることで役員人数や活動負担が増えてしまうのではないかな。
通学の手段	P T A活動	通学距離が遠くなる。
通学の手段	P T A活動	小学校の期間は通学方法を決めることを親に委ねられると、子どもも活動（登下校の見守り etc）の足並みをそろえるのが難しくなるのではないかなと思う。
通学の手段	P T A活動	通学距離が遠いと登下校に時間を要する。距離によって登校手段を決めるのではなく、全員がどの選択肢も選択できるようにしてほしい。生徒数が減っているのにP T A活動の数は同じで継続されると親の負担が多くなるため活動の見直しが必要。
通学の手段	P T A活動	歩いて学校まで通える小学生が少なくなるが、スクールバス運用対象外の地区でも通学に時間がかかり、特に低学年は夏場の熱中症対策等課題が多くあるように思う。また、それぞれの学校で内容が異なるP T A活動を1つにまとめるのはとても大変だと思う。
通学の手段	避難所・防災拠点の確保	どんな形になるのか分からず不安。（歩くことも大切だが、安全確保も大切）今の山田小学校の校舎はどうなるのか。今の神南中のみが避難所となると遠い。（地域のお年寄りに行くことが困難）
通学の手段		義務教育学校になった場合の校舎の場所にもよるが通学距離が長くなることが考えられる。山田・船津の間を運行する路線バスもないため、新たに通学バス等の運用などを考えないといけなくなるがガソリン代の高騰などもあり難しいのではないかな。
通学の手段		小学生、中学生の子どもがバスで通学できるのが心配。
通学の手段		歩きでの通学になると、低学年の子どもたちですと、行くだけで疲れてしまうと思います。
子どもの学習面	環境の変化に伴う子どもへの影響	入学当初から義務教育学校であれば、心配ないが、途中で統合となると子どもの心境や人間関係が心配。
子どもの学習面	環境の変化に伴う子どもへの影響	年齢の大きく違う生徒達が適応できるか。いじめの問題がおこらないかという不安。

子どもの学習面	P T A活動	生徒数が減り教師の数も減れば、十分な授業ができないのではないかと不安があります。また、P T Aの役員なども大変になるのではないかと思います。
子どもの学習面	P T A活動	小学校の教師が中学生の勉強面での助けになるのか、受験生と同じ空間に小学生が居ることが良いことなのか、心配です。小中学校、どちらにも子どもが居た場合P T A活動はどちらで参加するのか、P T Aの中身がどうなるのか不安や疑問もあります。
子どもの学習面	その他	専任の先生が小学生から中学生を幅広く対応して授業ができるのか心配。
子どもの学習面		中学校での1学年複数学級が維持できなければ統合、義務教育学校化する意味がない、問題は小学校ではない、中学校が少人数になることが問題、複数クラスでない中学校に通わせるつもりはない。
環境の変化に伴う子どもへの影響	P T A活動	義務教育学校となることで学校の場所が変わるので子どもが戸惑う。学校舎がなくなる。 義務教育学校になったとしても、ゆくゆくは1クラスになる学年が増えるのであまり意味がないと思う。
環境の変化に伴う子どもへの影響	避難所・防災拠点の確保	人数が少ないため、知らない校舎、知らない空間、先生方など、急な変化は不登校につながるように思います。
地域と学校とのつながりの希薄化	環境の変化に伴う子どもへの影響	地域の住民が少ないため、近隣と統合するより希薄化する。児童の減少でクラブ活動等の選択肢が少なければ少ないほど、可能性も広げてあげることができない。
地域と学校とのつながりの希薄化		校区が広くなり関りが薄れる。
P T A活動		4月から中学校に進学するが、中学生の保護者の負担が大きくなりそうで心配です。
P T A活動		過去の役員履歴は反映されるのかどうか。
P T A活動		活動が増える事は嫌。今の時代の流れ（共働き、核家族）にあった活動にしてほしい。
P T A活動		P T Aなどもなくせば良い。今時あまりない。嫌な人もたくさんいる、ストレスがたまる。人間関係が難しい。
避難所・防災拠点の確保	その他	友達と何かあった時、クラスが少ないと何かと問題が出てくるのでは？？と思います。 市川が氾濫したとき、どこへ避難するのか？？心配です。
避難所・防災拠点の確保		小学校の施設等の跡地の活用がうまくできれば良いが、学校が1つとなると、万が一の時に人が集中する可能性がある。
特になし	その他	人数が増えて良いと思う。
特になし	その他	結局根本的な解決にはなっていないような・・・9年間、1クラスで過ごすことが本当に良いことなのか。（船津・山田足しても1クラスになるような状況で）通学面より、学習面より、コミュニケーションというか精神面での影響が不安です。
特になし		人数が増えすぎると人間関係など、心配なことも増えますが、船津・山田・神南の統合程度であれば大丈夫かと思います。さほど変化を感じないです。
特になし		もともと子どもはR 7から中学生なので心配ない。
特になし		問題が予想されることには対策があると思うため。
特になし		香寺や豊富と統合するとなると登下校の安全面が心配であるが、神南校区のみであれば、遅かれ早かれ必ず行く場所なので特に心配事はありません。
その他		義務教育学校は、いつのまにか立ち消えになった、船津小、山田小の児童数、クラス数の減少の解決にはなと思うが、中学校の生徒数減少を解決することにはならないから。
その他		運動会などの行事において、小学校と中学校それぞれどのように行うのかが気になる。
その他		学校行事の簡素化
その他		デメリットにもあげられていましたが、人間関係が固定化してしまうことになると思うのが不安です。そのまま高校生になり、大きなギャップが生まれるのではないかと思います。
その他		この地域での小中一貫校では、中学校の在校生が他校に比べ少ないので、活動や考えの幅が狭くなるように思う。生徒の数が多い方が幅が広まると思う。

その他		接する同級生が9年間一緒のため。
無記入		香寺中と合併となった場合、(登下校の安全確保) 少し距離が遠くなるので、重い通学鞆を背負っての通学に心配はあります。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		船津地区だと何も変わらないのかもですが、山田地区だと小学生の子どもたちは通学するのにスクールバス等があるのか、その負担は親がするのか、市からの補助等はあるのか。
3つ選択(登下校、通学、環境変化)		小学校低学年などの通学の手段が心配。学校が1つ(一貫校)になれば学校舎の維持費など、教職員他経費の大幅な削減となると思うのでスクールバス必須。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		小学生の負担を減らしてあげたい。今でも登下校に関して、遠いと思う村があるのに、さらに遠くなり、その場合どういった登下校をするのか不安なため。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		香寺中学校まで、国道があり交通量が多い。事故の心配。
3つ選択(登下校、通学、学習面)		グラウンドや体育館が狭い、校舎も狭い。JAと船山出張所の間の道路が危険。
3つ選択(登下校、通学、避難所)		校区が広がるので今までのように歩いて登校が難しくなり安全面での心配。
3つ選択(登下校、通学、環境変化)		中学校まで遠いため。
3つ選択(登下校、PTA、その他)		車通りが多い所も通るので小学生は心配。もし、小学生にも制服が必要になった場合に、成長とともに買い替えも必要となり、費用が掛かるようになると大変だと思う。
3つ選択(登下校、通学、環境の変化)		学校が遠くなる。
3つ選択(登下校、通学、地域と学校)		中学生は良いが、小学低学年は通学が心配。
4つ選択(登下校、通学、学習面、PTA)		どの道、校区が広がるので、安全な登下校手段をしっかりと確保してくれば良い。学習面はさほど変わらないと思うが、質を上げるための変化で、悪くなるようなことがあってはならないと思う。
7つ選択(登下校、通学、学習面、環境の変化、地域とのつながり、PTA、避難所)		問3の回答内容と問2の回答がすべて。そもそも地域の人の希望することなのか。子の意見は聞かなくて良いのかと思います。

【その他、ご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)】

もう、香寺や豊富との統合の話はなくなったのですか？ちょっと安全面の不安が大きすぎます。神南だけなら、良いと思う。
いつぐらいを考えているのですか？(時期)
小学校に歴史があり、地域とのつながりがあるのは大いに理解していますが、そこにこだわりすぎると、子どもたちにとって、良い判断にならないと思います。変わっていく時代の変化についていくためにも、何を大事にしていくのかをはっきりと基準として持っておくことが必要だと思いました。「これからの神南校区の子ども」を大事に考えていき、大人や地域が最大限の支援をしていけば、より良い校区ができるのではないかと思います。すてきな「神南校区」になればと願っています。よろしくお願いします。
通学の際、今も人気がなく不審者から狙われないか不安です。 母親も仕事をする時代になり、当番制も無理があるようで、子どもだけで長い道のりが不安です。老人会などから見守りをしていただけないのでしょうか。 保護者の数が少ないのでどこかへうったえることもできません。どうかよろしくお願い致します。
50年後も100年後も生徒数が減り続けると確実に言い切れますか？ 先生の数も減り続けると言い切れますか？ この世代で伝統ある小学校をなくしてしまっても良いのでしょうか。
どっちが良いのか本当にわかりません。今、現に登下校中地域の方々に声をかけてもらって話をしたり、子どもながらに顔見知りになって仲良くしていただいているおじいさん、おばあさんがいて私よりも山田の人の顔を知っている子どもたちにビックリと嬉しさがあります。
小学校から中学校へ進学したときにギャップを感じ不登校となるケースもあると聞くのでわざわざ中学を分けるより小中一貫になっていた方が、環境の変化がなく良いのではないかと思います。周りを見ても小中一貫が増えているということは子どもの少子化だけでなく子どもの学習の場としてのメリットも多いのだと感じています。ただ、校舎、校庭が人数増加により自由に走り回れなくなるのではないかと懸念もあり、又、小学校中学校の1クラスの人数の基準を下げ、30人以上40人以下の学年は2クラスに分けてもらえないでしょうか。人数、先生への相談のしやすさ、クラスの雰囲気を見ると、今の学校の1クラスの人数が子どもにとってとても楽しそうであり、良い関係を築けていると思うからです。
地域の活性化には住民の力は欠かせないが、行政が新たな視点や取り組みで大胆に改革すべきではないか。

教育委員会に委ねます。今年中に決定していただき具体的な案を出していただきたいです。
中学生になったとき、距離にかかわらず自転車通学を許可してほしい。少しの距離の違いで徒歩通学になると1人での帰宅が増え防犯上危険度が増すように思う。
支援学級に関する内容が1つもなかったですが、その点どのようになるのかも対策案があるのであれば提示してください。小中一貫になれば人数も増え、精神的サポートを受ける必要も出てくる。人数も。現に中学は支援学級がなく、保健室登校、または支援学校への入学を進められることがあります。その点一貫になった場合どうなされますか？また学童についての記載もなく、本当に一貫にしたいのかどうかわかりません。ご提案してくださるのは良いかと思いますが、今の子どもたちの意見、今の親たちの意見を尊重してください。昭和や平成とは全く違いますので。お話の分かる方に届けば幸いです。
急いで、何度も話し合う必要はあるのか？と思う。
生徒の数が減ったからという理由で学校を減らすのはどうかと思います。職員の給料とかの金銭面で減らすのであれば、はっきりとそういつてほしい。それを隠して子どもの数を原因にするのはナンセンスである。そもそも少子化となった原因、過疎化になった原因は少なくとも行政にあると思います。それを田舎やからとこちらに押し付けるのはおこがましいと考えますが、いかがでしょうか？
6年～中学にあたって、山田、船津からの神南中で一緒になるだけでも不安に思う子どもや保護者もいるのに小学1年生からもっと不安になる（人、バスなど）かもしれない。バス代や乗り遅れ、運転などなど。
できることなら「統合しない」を選択したいが、長期的に考えてもいずれ統合しないといけない生徒数になるのであれば、義務教育学校にせず他の中学と統合した方が良いと思います。小学校には放課後児童クラブもあるので今のままが良いです。生徒数の減少が問題点となっているのであれば、他の中学と統合する以外、問題解決にはならないと思います。
船津小学校（山田小）は単独で維持し、神南中学校を香寺中学校と統合する。又は、豊富小中学校と統合し、義務教育学校とする。（船津小学校も豊富に統合する）のいずれかしかないと思う。なぜ短期間で方針が変わるのか（そのように見える）以前は義務教育学校化の流れではなかった。
決定したことに対して不満であれば他校に行けば良いと思う。これだけ少子化が進んでいるなら仕方がないこと。割り切って考えられないのであればこの地区に住むのは間違い。
神南中学校は統合しない。義務教育学校を設立する。が決定しても、各家庭の選択する権利を作っていただけだと思います。
中学校になると授業が難しくなり、今の人数で先生に教育、勉強を教えていただく方が理解しやすく、先生方もどの生徒が勉強を理解しているのかしていないか把握しやすいと思います。
委員会の方や市の担当の方は何度か会を設定して丁寧に対応していただきご苦労様です。全員の意見が合うわけもないし、我が家も決まったことには従います。私達も母校がなくなるのは嫌だし、我が子が遠い所へ通うのも嫌だが感情論で意見せず、現実的に考えていつてほしい。クラス替えができない（できなくなる）ことは、逃げ場がなくなるということで、子どもも先生もしんどいですよ。少々痛みがあっても毅然とした態度で判断決定してほしい。
子どもたちにも意見を聞いてみてはいかがでしょうか。
香寺や豊富地区との統合は距離や環境の変化がおおきいことについて不安が大きいので避けていただきたいです。
人口が増加しにくい環境の見直しはやる予定なのか知りたい。（市街化調整区域やその他）
調整区域でも簡単に家を建てられるように働きかけをしてください。
子どもたちにとって、学びやすく、育ちやすい環境であれば良いと思っています。それと、だれもが心安く、あいさつをし合える、この辺り特有の風習が失われなければ良いと思っています。
子どものために、何が一番良いのか、判断が難しい。
・小中一貫の次は、統合しないを希望します。 ・数年後に児童数が逆転する豊富小中との統合はありえないと思います。 ・又、香寺中学校との統合なども人数の差や距離などの面から沢山の不安があります。
もし、義務教育学校となった場合、船津小と山田小の跡地の運用が気になっています。そのあたりの計画進捗も合わせて開示（共有）をお願いします。
児童数の減少に伴う統合への動きは一定程度やむを得ないが、自治体の予算削減を理由とすることに重きを置いた決定などが無いことを切に願います。親の思いとしては、子どもたちの教育の質が平等に保たれることが大前提でありますので、あくまで児童側からの目線で判断をしていただくことを望んでおります。
今までの資料を拝見して、デメリットにばかり目がいつてしまします。まず、デメリットの個を1つずつぶしていかなければ、賛同は得られないように思います。
義務教育学校になった場合、運動会や音楽会などのイベントや日常生活がどのように運営されるのか全く分からない。他の義務教育学校のモデルケースを掲示したりしてほしい。中学生だけが作るコミュニティも、人としての成長にとって大事だと思う。
中学校は香寺と統合。小学校は船津・山田で統合し、山田小の校舍を使用し、船津小児童はバス通学とすることを希望します。
スクールバスを導入した場合、ほとんど歩くということがなくなってしまうので、体力面での低下の心配が出てくる。
行動が遅い、もっと早く手を打つべき。

すでに義務教育学校となっている学校の様子をもっと知りたい。 今回このような記述式のアンケートの回答をしておりますが、今現在水面下ではどのような話し合いがなされているのですか。 秘密裏に話が行われているというか少人数で話を進めている感が否めていないです。 もっと公開して話が今どんな感じで進んでいるかを知っていくことも姫路市としては執り行って頂きたいです。 色々な意見が出てきていると思いますが、当事者である小学校に通わせている親には年2回程度の会議というかミーティングを開いてその話の結果を知らせてもらっているが、あまり内容が伝わってきておりません。 少人数でミーティングを行うのではなく、もっと開かれたミーティングをすべきではないのでしょうか。 大人数でミーティングをしたら決まる話も決まらないとは思いますが、密室で限られた人達によって学校方針が決まっていくのはおかしいと思います。 一度ミーティングに参加したい人を募って大人数での会議を行ってみても良いのではないですか。 大前提として、この神南地区に若い方に住んでもらわないと人口増加が望めないのですね。 山田地区も船津地区も若い方が家を建てられるようにしないとどんどん過疎が進んでいくと思っています。 ですので、調整区域の見直しも姫路市として検討していくべきではないでしょうか。 全て市街化区域に変えていけば若い方も家を建てやすく永住していけるのではないのでしょうか。 加西市では都市計画区域の線引きを廃止すると聞いています。姫路市ももっと過疎対策を考えていただきたい。
義務教育学校としても、後期課程（中学生）の人数が増えるわけではない。ただ、同じ校舎で、前期課程（小学生）と一緒に学校生活を送ることで、学校全体の活力は増すだろうし、それが地域へつながってほしいと思う。この統合は特にこれからの山田小の児童にとって避けられないかもしれない。決して統合を望む訳ではなく、今のまま存続できるのが一番だが、統合してもこの先10年、20年後にはどうなるか分からない。移住の促進、空き家バンクや農地の活用など、山田船津地区に外から人が入ってきやすくなるような施策を考えないといけない。環境はとても良いところなので。
1学年に1クラスでは、中学校、高等学校通学時にコミュニケーション面で悩むのでは？と心配です。
義務教育学校にしても、小学6年生から中学1年生にあがる時にひと区切りできるように、修了証書の発行とかあれば良いと思う。
今回の問題は神南中学校をどうするか？なので、現状義務教育学校にすることはないと考える。それよりも、加西市のように統合し1つの学校を建設し、そこに集約させる。これは姫路市北部の問題として市で取り組む問題である。今ある予算でどうにかするのではなく、10年とかの期間を見込み、香寺・豊富・神南地区の小中学校一貫校建設にむけて予算の確保なり地域説明会を行うべきであると考えます。
義務教育学校は、中学校の生徒数減少の問題を考える中では、何の解決策にもならない。小学校の児童を寄せ集めただけで、中学校の生徒数が増える訳ではなく、専門分野を教える9教科の先生確保の課題解決もできないにもかかわらず、小学校設備の何もない中学校に多額の設備投資を必要とする。給食室、低学年用プール、放課後児童センターや教室の増築等には億ほどの資金が必要と思われる。将来に向けて解決すべき方向性とは全く違うことに無駄なお金を使うだけで、本当の課題解決には何もならない。 神南中学校の今後について考えていくということであったが、夏アンケートの前に、義務教育学校にすることが選択肢につけ加えられたことについては、全く意味が分からない。今後の取組方策としての選択肢に並べられていれば、他中学と統合するよりは、とそれを選べば最終的な結論になり得るのかとの誤解を与える。義務教育学校にすることにより、神南中学校の統廃合問題が今後解決するかのように選択に挙げられていて、今後他校との話が一切なくなるのであれば、結論になり得るが、将来的には問題解決ではないとして再び話が出てくるのであれば、解決策ではない選択肢をなぜ挙げるのか。小学校と混ぜても、専門教科を教える10人の先生の確保の問題を残し、姫路市の今後抱える教員不足の課題解決にもならず、給食室、プール、放課後児童センター教室の増築等全ての小学校の機能移転のために億ほどの設備投資を必要とし、結局は中学校については他校との統合の話はなくなならないということであれば、ただ姫路市の予算の無駄使いで意味がない。統廃合は姫路市全体の問題であり、市は将来の全体像、数、統廃合の規模、ビジョンをまず作成し、姫路市全ての中学校で考えていくことが必要である。生徒数が減る時代、市全体での見直しをせまられることは仕方ないことだが、神南中1校にだけ押しつけないで、全中学校で考えていかなければならない課題である。
教師の数が減少していると聞きますが、実際のところは学校の数が減り統合する方が良いのでしょうか。 神南中学校に統合した場合、船津小学校、山田小学校の校舎はどうなるのか。どのように活用されるのか。 またいずれはどこかと統合するようになるのではないか。
統合の話も大事かもしれませんが、少子化が進む原因を聞きたいです。若年家族が住みたいと思う街になるための努力、改善策を取り入れてから考えていただきたいです。
「母校を残したい。」という意見があるそうですが、それは親世代の思いであり、今現在学生である子どもたちには、関係のない意見ではないでしょうか？教師の人数不足や部活を満足にできないようならば、小学校ではなく近隣の中学校との統合を視野に入れるべきではないのでしょうか？義務教育学校になったとしても、その数年後にはまた同じ問題が出てくると思います。通学の手段や時間に不安を持っている方もいらっ

しゃいますが、中学生は自転車通学ができます。小学生も低学年の間は不安もありますが、豊富や加西の方は1時間かけて登校している子どもたちもいます。なので、この山田・船津校区では範囲はバスを出す程でもないように感じます。結局は親の受け止め方、考え方の問題でもあるのではないのでしょうか。
義務教育学校にした場合、学校行事の時の親の車はどこに停めるのかなどしっかり考えなければ周辺住民は迷惑することになる。義務教育学校にメリットがあるように思えない。船津や山田に新しく住んでもらえるよう、人口が増えるようにすることが最優先だと思う。
義務教育学校になるのであれば、これを機に行事、PTA、子ども会、地域の行事などを見直し、スリム化してほしいです。子どもが倍以上いた時代から今では生活環境も変わり、親の仕事スタイルも変わり地域内ですべてを担い完結するのは無理があるのではないかと。スリム化し、不足分を行政で補ってくれるように要望してほしいです。
子どもが減っているから学校を減らすのは良いですが、姫路市北部にもう少し行政として取り組みせんのかいと、南部の状況を見ていると思います。ただ自然豊かというだけでは(ほったらかされている印象です。)
義務教育学校になっても子どもの数は減っていくし意味がないように思います。少人数のメリットもあるかもしれませんが、デメリットの方が多いと思います。
自治会の方達は「母校がなくなるのが寂しい」とおっしゃいますが、大切なことは、これから中学生になる子どもたちであり、過去の思い出ではないと思います。子どものことをまず一番に考えてほしいと思います。
スクールバスがあれば統合しても良いのではと思う。
前回のアンケートや説明会でも多く声が挙がっているが、まずは人口増加対策に取り組んでからすべき。空き家対策や市が所有している空き地(ただの更地にして何年も放置)など無駄が多すぎる。
また、統合や義務教育学校が市の都合感が払拭されない。生徒数の減少によるメリットは言わず、デメリットばかり強調されている。子どものためなのか、市のためなのかわからない。もう白紙にしてもらって結構。
部活動に属さず外部チームに入ると、登下校に時間がかかると間に合わなくなる。
入学者(予定者)がいる間は、小学校を失くすべきではない。義務教育学校にもすべきではない。
子どもたちの意見、その保護者の意見をしっかりと聞いて頂きたいです。この件に関わる方々の意見を中心に考えていただきたいと心から思っています。
元、船津の人でも、家を建てるのに大変な思いをしました。 ここに住みたくても、難しいと思い、諦めた人も多いと思います。 正直、いろんな思いがあります。今のまま、義務教育学校、近隣の中学校への統合、どれも、メリット、デメリットがありますよね、本当に難しいです。 小さいお子さんのいらっしゃるご家庭の方が、決められたのであれば、それが一番良いと思います。ご自身のお子さんの事を考えてご回答をされていると思うので。宜しくお願い致します。
デメリットへの不安をなるべく解決できるような対策をとってほしいなと思います。
統合し各学校がなくなるのは寂しいですが、違う形で使えるようになったら良いなと思います。 他地域でもしている「まちの学校」のような〇〇教室やイベントなど。
中学校で、船津と山田が合併しても、それが早まって小中一貫の義務教育学校になったとしても、年々子どもの数が減っているの、ゆくゆくは1クラスになる学年が増えてくると思うので、義務教育学校にするのは、正直あまり良く思わない。それなら今のまま、船津小・山田小→神南中学校でいくか、中学校のタイミングで香寺中学校と統合する方が良いと思う。香寺中は3つの小学校が合わさるため、みんな環境が変わるのは一緒だと思うから、ただそうなると神南中の校舎はどうするのかや、通学手段など課題が出てくるのでそこも考えないといけないと思う。
統合するのも、義務教育学校にするのも良いが、子どもを増やすことを考えてほしい。
現状維持とした結果、将来的に隣接中学校と合併ということがないように、協議会ではしっかりと議論を出してほしい。
中学校卒業まで地域の学校に通えるよう、小中一貫校となることを強く望みます。
船津小学校が使われなくなった後の使い方で、それが子どもの使える施設だったら、地域の魅力となり、この地区に移住したいと思う理由になると思う。
全国、他の地域でも廃校が水族館になったり、宿泊施設など楽しいものがあつた。姫路市には、室内で遊べる所が子どもの館、CCパークは思い浮かぶが少ないと感じる。小学生、中学生でも遊べるエリアがあるなど、他にない強みの施設にして頂きたいです。キャンプ場、室内から屋外にもつながるアスレチック、謎解き迷路、色々と面白い意見がたくさんあれば柔軟にご検討をお願いします。
船津、山田の少子化が止まり、活気ある地域になれることを求めています。
香寺や豊富と統合になると通学(安全面)や環境の変化に不安があります。
色々な意見があると思うが、いつまでにするにしても、しないにしても、結論を出す期日を明確に出してから。議論が進んでいるのかの確認をできると嬉しく思う。

お問い合わせ先

姫路市役所 教育委員会事務局 教育企画室

住所 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

電話番号 079-221-1557

ファックス番号 079-221-2749

メール kyo-kikaku@city.himeji.lg.jp